

(6) ti と di (原則11)

これらは、「原則」では、なるべく「チ」「ジ」と書く、となっているが、実態は下のとおりで、原則とおりの表記は半分以下である。

ti	のべ		ことなり	
		%		%
チ	176	47.4	68	43.9
ティ	142	38.3	70	45.1
テイ	9	2.4	8	5.2
テ(-)	44	11.9	9	5.8

di	のべ		ことなり	
		%		%
ジ	98	37.5	22	21.0
ディ	128	49.0	60	57.1
デイ	15	5.7	13	12.4
デ(-)	20	7.7	10	9.5

語中と語尾とにわけると、語尾の方が「ティ」「ディ」になりやすいようである。

ti	のべ			ことなり		
	語中	語尾	語尾の比率	語中	語尾	語尾の比率
チ	171	5	2.8	64	4	5.9
ティ	81	61	43.0	42	28	40.0
テイ	3	6	66.7	2	6	75.0
テ(-)	42	2	4.5	7	2	22.2

di	のべ			ことなり		
	語中	語尾	語尾の比率	語中	語尾	語尾の比率
ジ	90	8	8.2	18	4	18.2
ディ	96	34	26.2	44	17	27.9
デイ	8	6	42.9	7	5	41.7
デ(-)	18	2	10.0	9	1	10.0

「チ～ティ」「ジ～ディ」の差は、その語が日本語にはいつの年代と関係があるだろう。しかし、このことは、はっきりはでてこなかった。下の表は、固有名詞をのぞいた一般語を、榎垣実『増補外来語辞典』によって年代

別にわけたものである。(数は、もちろん、ことなり数である。)

	江戸	明治	大正	昭和	現代	不明
チ	3	7	6	18	7	4
ティ	—	5	6	12	5	8
ジ	—	3	1	9	—	1
ディ	—	6	6	14	2	3

〔実例 (度数5以上)〕

(ti)

アルゼンチン	5	ティーム	4	ペティコート	8
エチケツト	8	チトー (人名)	11	ペテイコート	1
カーティス (人名)	4	パーティー	5	マーティン (人名)	5
カアティス	3	パーティ	13	モチーフ	6
ステッチ	34	パーテー	1	ロマンチック	4
スポーティー	1	パーティ	1	ロマンチツク	1
スポーティ	6	プラスチック	8	ロマンティック	4
チーム	49	プラスチック	1		

(di)

アイデア	8	ディーゼル	4	ボディ・ビル	2
アイディア	3	デイゼル	1	ボディビル	2
インディアン	11	ジーゼル	1	メロディー	5
インディアン	2	ヂーゼル	1	メロディ	3
インデアンズ	1	ディーン (人名)	3	メロデー	2
カーディガン	12	デーン	2	ラジオ	55
スタジオ	12	デイン	1		
スタディオ	13	ボディビル	2		

(7) 語末の -er- など (原則16)

「外来語表記の原則16」は、「原語 (特に英語) のつづりの終りの -er, -or, -ar などをつづりかながきする場合には、長音符号「ー」を用いる。」というものである。これは、実は表記の規定ではなく、語末の -er などは長音にす

る、という発音上の規定である。発音が長音であれば、それは、原則7によって、当然長音符号でかけられることになる。

ここでは、対象をつぎの範囲に限定した。

- a) 原語が英語であるもの。したがって、「ワグナー (Wagner)」は対象外。
- b) 文字どおり語末 (β 単位末) にあるもの。したがって、「センター前 (center)」「タイガース (tiger)」は対象外。
- c) -er などが、前の部分とちがった発音上の単位になっているもの。したがって、「wear」「hair」「hour」は対象外。
- d) 原語のつづりが、つきとめられるもの。「ピースター」「ベーカー」など、いくつかの人名は、原語で -er などのつづりをもっている可能性があるが、確認できなかったので除外。

結果は、つぎのとおりである。

	の べ		ことなり	
	長音	短音	長音	短音
-ar	158	5	38	3
-er	601	9	206	7
-or	92	27	29	2
-ur	10	—	4	—
計	861	37	277	12

以下に、短音の全例をあげる。

(high) collar	ハイカラ	2	
Himalayan cedar	ヒマラヤシーダ	2	
familiar	ファミリヤ	1	
Greer (人名)	グリア	1	
butter	バタ	1	(バター 30)
beaver	ビーヴェ	1	(ビーバー 1)
homer	ホーマ	2	(ホーマー 5)
Mr	ミスタ	1	
slipper	スリッパ	2	
spanner	スパナ	1	

junior	ジュニア	4	(ジュニアー 1)
door	ドア	21	(ドアー 5)
	扉	2	(ドアー 1)

この規定が問題になるのは、技術関係で「コンピュータ」など短音での表記がふつうであるためだが、一般用語・用字としては、上にみるとおり、長音が圧倒的である。

(8) 文研調査との比較

NHK放送文化研究所では、外来語の表記と発音についてのアンケート調査を実施し、209人からの回答をえた。結果は、

石野博史「外来語の表記と発音」(『文研月報』1974年7月号)にまとめられている。表記については、「テレビの画面に書き表す場合、どちらの形で書くのがよいでしょうか。」というたずねかたで、2つの表記形の一方をえらばせる、という方法によっている。ここでは、雑誌90種に実際にあらわれた形を、識者のえらんだ形とくらべてみることにする。ただし、雑誌の方は度数5以上の語にかぎる。また、文研の調査結果が、すべてパーセントで出ているので、雑誌の方もこれにならった。

(ia)

	アジア	アジャ	イタリア	イタリヤ
文研	89	8	68	26
雑誌	100	0	76	7

	ピアノ	ピヤノ	ロシア	ロシヤ
文研	96	2	76	18
雑誌	100	0	69	31

(f)

	ファイト	フアイト	ファン	フアン
文研	79	18	78	21
雑誌	100	0	74	26

	フィルム	ファイルム	フィンランド	フィンランド
文研	70	28	70	25
雑誌	79	21	40	60

	フォーム	フオーム
文研	88	10
雑誌	100	0

(v)

	ヴァイオリン	バイオリン	ヴェテラン	ベテラン
文研	24	71	6	92
雑誌	89	11	18	82

(ti)

	エチケット	エチケツト	ティーム	チーム
文研	7	92	9	89
雑誌	0	100	8	92

	ペティコート	ペチコート
文研	43	54
雑誌	100	0

以上の結果を比較すると、まったく別種の調査だが、大体おなじような傾向をしめしている。(合計が100%にならないものがあるのは、その他の結果もあるためである。)ただし、「ヴァイオリン～バイオリン」のように、逆の結果になったものもある。

国語施策沿革資料 9

外来語資料集（諸案集成その4，研究資料その1）

昭和63年3月31日

編集・発行 文 化 庁
（文化部国語課）

郵便番号 100

東京都千代田区霞が関三丁目2番2号

TEL(03)(581)4211
